

神奈川県地域福祉支援計画

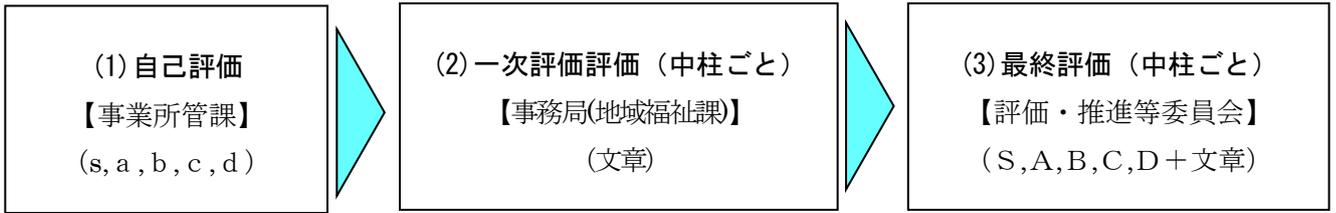
平成30年度評価まとめ

「神奈川県地域福祉支援計画」評価方法（平成30年度～令和2年度分）	1
「神奈川県地域福祉支援計画」平成30年度評価まとめ	2
1 ひとづくり	2
(1) 「ともに生き、支え合う社会」の実現に向けた意識の醸成	2
(2) 地域福祉の担い手の育成	5
(3) 福祉介護人材の確保・定着対策の推進	10
2 地域（まち）づくり	15
(1) 地域における支え合いの推進	15
(2) バリアフリーの街づくりの推進	19
(3) 災害時における福祉的支援の充実	23
3 しくみづくり	25
(1) 福祉に関する生活上の課題への対応	25
(2) 高齢者、障がい者や児童等の尊厳を支え、守り、いきいきとした暮らしを支援する取組みの充実	29
(3) 生活困窮者等の自立支援	33

神奈川県福祉子どもみらい局福祉部地域福祉課

神奈川県地域福祉支援計画（平成 30 年度～令和 2 年度）の評価方法について

1 評価の流れ



(1) 事業所管課による自己評価

○自己評価は、「成果指標（アウトカム指標）」又は「活動指標（アウトプット指標）」による達成度に応じて s、a、b、c、d の 5 段階で評価する。

※原則として「成果指標」を設定

※成果指標を設定できない（設定することが適切でない）事業については、その理由と「活動指標」を設定

(2) 事務局（地域福祉課）による一次評価（中柱ごと）

○神奈川県地域福祉支援計画記載の「主な目標の達成状況」を記載。

○支援策ごとに、各事業を「成果（アウトカム）」と「取組み実績（アウトプット）」に分け、それぞれの自己評価の個数と、文章による主な成果と取組み実績を記載。

※アウトカム及びアウトプットで実績を測ることができない事業については、「その他の実績（アウトカム、アウトプット以外）」として記載

○支援策ごとに、「主な評価の分析と今後の課題・対応」を記載（評価の分析とは、達成・未達成の要因、事業そのものの問題点等）。

(3) 評価・推進等委員会による最終評価（中柱ごと）

○事務局（地域福祉課）により、一次評価における自己評価の個数から「最終評価の基準（目安）」に基づき、最終評価案として S、A、B、C、D を示すとともに、その評価の内容を記載し、「委員会による最終評価」（案）とする。

○評価・推進等委員会では、「委員会による最終評価」（案）について、一次評価の内容を踏まえたご意見をいただき、修正の上、「委員会による最終評価」とする。

2 評価の基準（自己評価及び最終評価）

区分	基準	実績(指標による達成度)等
s (S)	順調に <u>進捗している</u>	100%以上 (100 点満点)
a (A)	概ね順調に <u>進捗している</u>	100%未満 <u>75%</u> 以上 (100 点未満 <u>75 点</u> 以上)
b (B)	<u>一定の進捗が見られる</u>	<u>75%</u> 未満 <u>50%</u> 以上 (<u>75 点</u> 未満 <u>50 点</u> 以上)
c (C)	<u>やや遅れている</u>	<u>50%</u> 未満 <u>25%</u> 以上 (<u>50 点</u> 未満 <u>25 点</u> 以上)
d (D)	<u>遅れている</u>	<u>25%</u> 未満 (<u>25 点</u> 未満)

※ () 内は、最終評価の基準（目安）に関する事項

※ 最終評価の点数は、[自己評価 s:100 点、a:85 点、b:60 点、c:35 点、d:10 点]とし、合計点を事業数で割り計算

3 公表方法

県ホームページへの掲載により行う。